

第九中だより

第11号

〒113-0021

東京都文京区本駒込3-28-9

文京区立第九中学校

「温故知新」から「温故創新」へ

校長 村松弘一

「温故創新」は、あまり聞きなれない言葉です。一方、「温故知新」という言葉はよく知られています。私が中学生の時、書初めの宿題になっていたことを覚えています。「故(ふる)きを温めて[温(た)ずねて、とも読む]新しきを知る」これは2500年前孔子が学問の仕方で大切にすべきことを弟子に説いた言葉です。意味は、「前に学んだことや古いことを研究して、それによって現代のことを知ること」となります。令和になった現在でも大切にしたい教えです。

「温故創新」は、日本の疫学研究の第一人者である故重松逸造先生(1917~2012)の造語のようです。2007年12月に訪中した福田総理大臣(当時)が、山東省の孔子廟を訪れた際、「温故創新」と揮毫(*きごう)したことにより多くの人の知るところとなりました。(造語ですので諸説あります)

「温故創新」とは、「故(ふる)きを温(た)ずねて、新しきを創る」となります。前に学んだことや古いことを研究して、新しいものを創り出すという意味になります。知ることではなく、創り出す創造性に重きを置いています。

私の専門は数学ですが、数学は、まさに「温故創新」です。大学時代は、数学の概念を身に付けるのに四苦八苦していました。しかし、ある数学の専門書を読み進めて、その概念の先に新しい定理が生み出された、その定理のエlegantさを見たときにはすごく興奮したことを覚えています。私は大学時代の恩師に、『**無から有を作る困難さを乗り越えること**』の重要性」を学びました。

数学の勉強はとにかく、公式をいっぱい覚えたり、問題の解き方を覚え、多くの問題演習を行うことに終始しがちです。それで、定期考査や高校受験等はクリアした。しかし、試験が終わり、半年・1年と時が流れると、身に付けた数学の力は忘却の彼方へ消え去ってしまいます。そういう数学の勉強に、どんな御利益があるのでしょうか。そうした勉強法が通用するのも、せいぜい大学入試まででしょう。

試験のためだけといった目的で勉強をしていることは、確かに間違いではないのですが、少し視野が狭く残念に、そしてむなしく思います。このことは数学を指導してきた自分を振り返っての、自戒の念ではありますが・・・。

数学に限らず、それよりも、学校で学んだ知識が有機的(横断的)に結合し、生活の知恵としても活用できるような学校教育が大事です。学問を積むと、今まで見えなかったことが見えてきて、視野が広まり、人生が豊かになります。時には不可能そうに見えたことを可能にできたり、自分自身の努力と意志によって自分の人生を新たに切り拓くことができるからだということを、本校の生徒には実感させたいものです。

年度初めに、目標をしっかりと立てて「**ゴール・ピープル**」になりましょう。勉強は、自分の将来の自己実現に向けた手段です。**学校で学んだことが**、みなさんのこれからの人生を切り拓いていくための、**力強い武器**となるよう願っています。

*揮毫:[筆をふるうことの意]文字や書画を書くこと
(参考:大辞林、四字熟語辞典、Web 医事新報より)



GOOD LUCK !

表彰と報告 (部活動、各種活動等)
令和4年度文京区環境保全ポスターコンクール

金賞 3年

銅賞 3年



1月行事予定表

日	曜	学 校 行 事	日	曜	学 校 行 事
1	日	元日	17	火	
2	月		18	水	⑤カット
3	火		19	木	
4	水		20	金	漢字検定
5	木		21	土	
6	金		22	日	
7	土	冬季休業日終	23	月	生徒会朝会 (部長)
8	日		24	火	⑤⑥カット
9	月	成人の日	25	水	特体連バスケ大会
10	火	始業式	26	木	都立高推薦検査
11	水	生徒委員会 給食始	27	金	校外学習 (1年) 都立高推薦検査
12	木		28	土	
13	金	英語検定	29	日	
14	土		30	月	全校朝会
15	日		31	火	
16	月	安全指導 生徒会朝会 (委員長)			